



20年のあゆみ

巻頭特集 **総文と新日本フィル**

ソロ・コンサートマスター  
**崔文洙**  
(チェ・ムンス)



スケッチブックには三重県のお客様にひとこと・三重県の印象を書いてもらいました。

- 1994** 三重県総合文化センター 開館  
現在まで続く「新日本フィル演奏クリニック」スタート
- 1995** 初の小澤征爾指揮公演が実現  
1.17 開館記念事業の一環として第一回演奏会
- 1997** 拠点ホール契約締結へ  
5.24 地方公共劇場の全国先進事例に
- 2012** 「ミエ・ユースウインド・オーケストラ」スタート  
3.24 県内の中高生と、1年間の成果を発表
- 2013** 「新日本フィル・ファンクラブ・オブ・ミエ」の立ち上げ  
これからもよろしくの意を込めて、ますますの応援を

これまでの歩み **運命**  
震災の当日に小澤征爾指揮で演奏会

開館記念事業の一環として、来日を予定していた「小澤征爾指揮 ポストン交響楽団」の招聘を検討しましたが、スケジュールが合わず断念しました。そんな中、小澤さんから「新日本フィルであれば日程が確保できるかもしれない」とのご提案をいただき、1995年1月17日に公演が決まりました。

奇しくも、その日の早朝に阪神淡路大震災が発生し公演開催が危ぶまれる中、小澤さん本人が一番に会場入りし、そして次々と団員が到着し、演奏会が実現! この時メインで演奏されたのが「ベートーヴェン/交響曲第五番ハ短調「運命」」。この公演がきっかけとなり、現在まで続く定期公演、関西拠点ホール契約へと繋がりが、「運命」を予想させる歴史的なスタートとなりました。



いままで“ありがとう”  
そしてこれからも“よろしく”

新日本フィル・ファンクラブ・オブ・ミエ

現在では、新日本フィルが三重県内で様々な活動を行っていることが当たり前となりました。毎年2回の「定期公演」や「演奏クリニック」などの取り組みは拠点契約を結んでいるからこそできていること。今まで以上に、三重の地で新日本フィルを応援することができないかと構想を練りました。拠点契約から15周年を迎えた2012年から企画、翌2013年にいままでの感謝や、これからもよろしくという思いを込めて“ファンクラブ”を立ち上げました。

ファンクラブは定期公演を、毎回自分専用のお席で聴いていただくことができ、さらに様々な特典が得られます。これまでにその特典の1つとして公開リハーサルやファンクラブパーティーも行われました。今後もさらに内容の充実化を図って参ります。

※今年度のファンクラブの申し込みは終了しております。



20年で総来場者数は55,716人!!

現在までに、三重県文化会館で行われた新日本フィルの公演は39公演。小澤征爾をはじめ、クリスティアン・アルミンク、ダニエル・ハーディング、インゴ・メッツマッハー、ゲルハルト・ボッセなど新日本フィルの中核となる指揮者陣が共に三重に来県し、名演を届けてくれました。これまでの総来場者数はなんと55,716人。平均して1公演1,400人のお客様にご来場いただいています。これからも総文は新日本フィルとともに、皆さんの記憶と記録に残る公演をお贈りして参ります。

そして、これからもこれまで以上に  
お互いの絆を感じられる取り組みへ。

